

作成日：2013 年 09 月 21 日

改訂日：2025 年 07 月 14 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

1. 1 製品特定名 : SHT-N66 (NC)
1. 2 製品の推奨用途と使用上の制限
 - (1) 推奨用途
家電用途、電子材料、工業用途の装置部品材料など
 - (2) 使用上の制限
体内埋め込み用途には使用しないでください。
食品接触用途には使用しないでください。
1. 3 供給者の詳細
 - (1) 会社名 : 東レプラスチック精工株式会社
 - (2) 住所 : 〒103-0021
東京都中央区日本橋本石町4-6-7 日本橋日銀通りビル 3階
 - (3) 担当部署 : 品質保証部
 - (4) 電話番号・FAX番号 :

東京押出販売課	TEL:03-3241-6816	FAX:03-3270-5247
大阪押出販売課	TEL:06-6443-9296	FAX:06-6448-0372
名古屋押出販売課	TEL:052-581-1516	FAX:052-581-1839
海外押出販売課	TEL:03-3241-6817	FAX:03-3270-5247

2. 危険有害性の要約

2. 1 化学物質または混合物の GHS 分類
本製品は成成品（アーティクル）であり、GHS分類の対象外です。
 2. 2 ラベル要素 : なし
 2. 3 絵表示またはシンボル : なし
 2. 4 注意喚起後 : なし
 2. 5 危険有害性情報 : なし
 2. 6 健康に対する有害性 : なし
- (1) 【予防策】

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないで下さい。

熱／花火／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけて下さい。

(使用中に吸入されうる粒子が発生するかもしれない場合、) 粉じんまたはミストを吸入しないで下さい。

(必要な時以外は) 環境への放出を避けて下さい。

取扱い後はよく洗って下さい。
 - (2) 【応急処置】

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させて下さい。医師に相談して下さい。

飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡して下さい。口をすすいで下さい。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗って下さい。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外

せる場合は外して下さい。その後も洗浄を続けて下さい。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗って下さい。

取扱った後、手を洗って下さい。

気分が悪い場合：医師の診断／手当を受けて下さい。

(3) 【保管】

直射日光、水漏れ、湿気、急激な温度変化を避け。施錠して換気の良いところで保管して下さい。

熱源、発火源から離れた場所で保管して下さい。

市町村条例に従って取扱って下さい。

(4) 【廃棄】

国、都道府県、市町村の関連法律、規則、条令に従って処理して下さい。

3. 組成、成分情報

- | | | | |
|------|-----------|---|------------------------|
| 3. 1 | 製品の区分 | : | 成形品（アーティクル） |
| 3. 2 | 化学名（推奨） | : | ポリヘキサメチレンアジパミド |
| | 別名（通称、略称） | : | ナイロン66樹脂 ポリアミド66樹脂 |
| 3. 3 | 成分の開示可否 | : | 可 |
| | 成分の名 | : | ナイロン66樹脂 |
| | 含有量 | : | 90%以上 |
| | CAS No. | : | 32131-17-2 |
| | 官報公示整理番号 | : | 7-382 |
| | （化審法・安衛法） | | |
| | 成分の名 | : | ナイロン6樹脂 |
| | 含有量 | : | 10%以下 |
| | CAS No. | : | 25038-54-4 |
| | 官報公示整理番号 | : | 7-382 |
| | （化審法・安衛法） | | |
| | その他の成分 | : | （NC）微量のCa系金属石鹼を添加している。 |

4. 応急措置

4. 1 必要な応急処置の説明

(1) 吸入した場合：

樹脂の溶融時に発生するガスを吸入して気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所へ移動し、回復を待って下さい。回復しない場合には、医師の診断を受けて下さい。通常では該当しませんが、熱分解による発生ガスを吸入した場合は、直ちに新鮮な空気の場所へ移動し、回復を待って下さい。回復しない場合には、医師の診断を受けて下さい。サンディング、研磨あるいは切断等の加工時に発生する粉塵を大量に吸入したことによって、咳や胸苦しさ等の呼吸器系の症状が生じた場合には、直ちに空気の清浄な場所へ移動して下さい。

呼吸困難の場合には酸素を与え、直ちに医師の診断を受けて下さい。

(2) 皮膚に付着した場合：

粉塵が付着した場合には石鹼と流水で十分に洗い流して下さい。溶融物が付着した場合には、直ちに清浄な水で冷却して下さい。皮膚の上で固まった樹脂は無理に剥がさず、十分に冷却させてから速やかに医師の診断を受けて下さい。

(3) 眼に入った場合：

速やかに流水にて15分間以上の洗浄を行って下さい。眼をこすらないで下さい。洗眼は瞼を指で開いて行なって下さい。刺激等の異常が認められる場合には眼科医の診断を受けて下さい。

(4) 飲み込んだ場合 :

誤飲した場合には、コップ1から2杯の水を飲ませて吐かせて下さい。必要があれば医師の診断を受けて下さい。

(5) 応急措置をする者の保護 :

溶融物、高温物を除去する場合は、適切な保護具を着用して下さい。

5. 火災時の措置

5. 1 適切な消火剤及び使ってはならない消火剤

(1) 適切な消火剤 : 霧状水、噴流水、泡、粉末、炭酸ガス

(2) 使ってはならない消火剤 : 知見なし

5. 2 火災時の特定危険有害性 :

燃焼時には一酸化炭素、二酸化炭素の他にシアン化水素、アンモニア等を含むガスを発生させる恐れがある。

5. 3 特定の消火方法 :

安全な距離から散水冷却して周囲の設備を保護して下さい。

周辺火災の場合で移動可能な製品等は、安全に行なえる場合に限り火災場所から搬出して下さい。移動不可能の場合には、製品等に注水して冷却して下さい。

消火作業は、離れた風上から行って下さい。

関係者以外は安全な場所に退去させて下さい。

5. 4 消火を行う者の保護 :

状況に応じた手袋、眼鏡、防火衣等を着用する。有毒ガスやヒュームが発生する恐れがあるので、適切な呼吸用保護具を着用し風上より行なって下さい。

6. 漏出時の措置

6. 1 人体に対する注意事項 :

機械加工時の切屑や切粉を床にこぼした場合は転倒の恐れがあるので、ほうきや掃除機で集めて回収してください。

(廃棄方法は廃棄上の注意に従って行ってください)

6. 2 環境に対する注意事項 :

細かい切屑や切粉は海洋生物、鳥類が摂取することを防止するために、全て回収して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

7. 1 安全な取り扱いのための注意事項

(1) 取扱い1 : 製品を運搬する時は滑り易いので滑り止めの付いた手袋を着用し安全靴を必ず履いて下さい。

A. 製品を一度に多量運搬する時には重量負荷を低減させる目的で、できるだけ助力装置を使用して下さい。

B. 製品を投げたり、落下させると割れて飛散する可能性がありますので、丁寧に取扱い願います。

C. 製品のエッジ部で手を切り怪我をする恐れがありますので、滑り止めの付いた手袋を着用して下さい。

(2) 取扱い2 : サンディング、研磨あるいは切断等の加工時には、粉塵の吸入を避けるために適切な呼吸保護具を着用し、作業中には換気を行なって下さい。加熱溶融時に眼や皮膚を刺激する可能性があります。加熱、溶融作業では加熱溶融によって発生するガスを排出するために有効な局所排気装置を設置して下さい。ガスの吸入を避けるために、適切な呼吸保護具を着用して下さい。

(3) 注意事項1 : 機械加工時、加工速度を極端に早くすると、製品が割れて飛散したり、加工面が溶融する可能性がありますので適性な条件で加工して下さい。
もし溶融した場合は直接触れないで下さい。

(4) 注意事項2 : 機械加工時、および熱処理時にはガスを吸入しないようにして下さい。

- (5) 注意事項3 : 常温で引火、爆発の恐れはありませんが、近くで火気をみだりに使用しないで下さい。
- (6) 注意事項4 : 製品は静電気を帯び易いので、必要に応じ静電気除去の対策をして下さい。
- (7) 注意事項5 : 粉塵の発生は避けて下さい。
- (8) 注意事項6 : 作業後には、手や顔の洗浄やうがいを行って下さい。
- (9) 注意事項7 : 作業着は常に清浄なものを着用し、粉塵が付着した衣類は再使用前に洗濯して下さい。
- (10) 注意事項8 : 熔融させる場合、樹脂を高温の状態で長時間滞留させないで下さい。
- (11) 保管1 : 直射日光の当たらない、熱、発火源から離れた場所で保管して下さい。
- (12) 保管2 : 製品を立てかけて保管すると反りが発生するため、棚に水平に保管して下さい。

8. 暴露防止及び保護措置

- 8. 1 管理濃度 : 設定されていない。
- 8. 2 設備対策 : 加工時に発生するガスや粉塵を除去するために局所排気装置を設置する。
- 8. 3 保護具
 - (1) 呼吸器用の保護具 : 機械加工、サンディング等の粉塵の発生する作業のときは、防塵マスクを着用して下さい。熔融した樹脂を取り扱う場合には、有機ガスマスクを着用して下さい。
 - (2) 手の保護具 : 熔融した樹脂を取り扱う場合には、火傷防止のため、耐熱手袋を着用してください。
 - (3) 眼の保護具 : 機械加工、サンディング等の作業のときは、保護眼鏡、ゴーグル等を着用して下さい。
 - (4) 皮膚及び身体の保護具 : 熔融した樹脂を取り扱う場合には、火傷防止の為、長袖服、長ズボン、防止を着用し露出部を可能な限り無くして下さい。
必要に応じて腕カバーや保護面を使用して下さい。
 - (5) 適切な衛生対策 : 取扱い後は、手洗い、洗顔、うがいを十分に行なって下さい。
的確な工業衛生管理規則に則った換気及び清掃を実施してください。
作業着は再使用前に洗濯して下さい。

9. 物理的及び化学的性質

- 9. 1 物理的状态
 - (1) 外観等 : シート状固体物
 - (2) 色 : NC : 自然色淡黄色
 - (3) 臭い : 通常ではなし。
 - (4) 物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲
 - A. 沸点 : なし
 - B. 融点/凝固点 : ナイロン66 : 255－270℃、ナイロン6 : 220℃
 - C. 引火点 : ナイロン66 : 400℃以上、ナイロン6 : 知見なし
 - D. 自然発火温度（発火点） : 400℃以上
 - E. 燃焼又は爆発範囲 : 文献に知見なし
 - F. 蒸気圧 : なし
 - G. 蒸気密度 : なし
 - H. 比重/密度 : 1.14
 - I. 可燃性 : 知見なし
 - J. 爆発下限界及び爆発上限界 : 知見無し
 - K. 分解温度 : ナイロン66 : >300℃、ナイロン6 : 知見なし
 - L. ph : 知見なし
 - M. 動粘性率 : 非該当

- N. 溶解度 : ナイロン66 : 溶解度(水)不溶性、ナイロン6 : 水に不溶、強酸に可溶。
O. 蒸気圧 : 知見なし。
P. 相対ガス密度 : 知見なし。
Q. 粒子特性 : 知見なし。

10. 安定性及び反応性

- 10.1 反応性・科学的安定性 : 一般的な保管、取扱いでは安定と考えられます。
10.2 避けるべき条件 : 高温、直射日光、火気、熱源等
10.3 避けるべき材料 : 危険な反応の原因となる化学物質は知られていません。
10.4 危険有害な分解生成物 : 燃焼時には、一酸化炭素、二酸化炭素、シアン化水素、アンモニア等を含むガスを発生する恐れがあります。
10.5 混触危険物質 : 強酸。酸化剤。

11. 有害性情報

11.1 基本的な有害性に関する情報

- (1) 急性毒性 : 知見なし。
(2) 皮膚腐食性／刺激性 : 知見なし。
(3) 眼に対する重篤な損傷／刺激性 : 知見なし。(但し、溶融時に発生するガスは刺激性あり)
(4) 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 知見なし。
(5) 発がん性 : ナイロン66 : 知見なし、ナイロン6 : IARCの発がん性区分ではNYLON6としてGroup 3(人に対する発がん性が分類できない)に分類される。
(7) 生殖毒性 : 分類できない(記述すべきデータはない。)
(8) 特定標的臓器／全身毒性－単回暴露 : 区分外
(9) 特定標的臓器／全身毒性－反復暴露 : 区分外
(10) 誤えん有害性 : 分類できない(記述すべきデータはない。)

12. 環境影響情報

- 12.1 生態毒性 : 知見なし。
12.2 残留性・分解性 : 知見なし。
12.3 生態蓄積性 : 知見なし。
12.4 土壌中の移動性 : ナイロン66 : この製品は水と混合せず、水系中で沈殿する。
ナイロン6 : 知見なし。
12.5 オゾン層への有害性 : ナイロン66 : その他の環境影響(例えば、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性)は、これらの成分からは予想されない。
ナイロン6 : 知見なし。

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄方法

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の「産業廃棄物(廃プラスチック類)」に該当します。知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託して下さい(地方公共団体が処理を行なっている場合には、地方公共団体に委託する)。廃棄物の処理に関する法律、規則、条例等に則して処理を行って下さい。

14. 輸送上の注意

- 14.1 国際規則 : 該当しない。
14.2 国連番号、国連分類 : 該当しない。
14.3 輸送上の特定の安全対策及び条件 :
製品の破損がないように、投げたり落下させる等の乱暴な取扱いは、行わないで下さい。

高く積載するときは、荷崩れしないように取扱って下さい。
また、直射日光や風雨にさらされないようにカバーをしてください。

15. 適用法令

- 15. 1 化学物質排出把握管理促進法： 該当しない。
- 15. 2 労働安全衛生法： 該当しない。
- 15. 3 毒物及び劇物取締法： 該当しない。
- 15. 4 消防法： 該当しない。
- 15. 5 廃棄物処理法： 産業廃棄物 廃プラスチック類に該当

16. その他の情報

16. 1 参考文献

IARC発がん性評価モノグラフ

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

JIS Z 7252：2019 GHSに基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253：2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場の表示及び安全データシート (SDS)

16. 2 最新版の改定日と変更箇所

2013年 9月12日 全面改訂

2014年 4月 1日 会社名を変更

2014年10月30日 住所の変更

2016年 4月 1日 組織変更による「海外押出販売課」追記

2023年 6月21日 書式見直し

2025年 7月14日 BK廃盤に伴い内容見直し

16. 3 責任の限定について

製品安全データシートは、当該製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を扱う事業者を提供されるものであって、安全を保証するものではありません。ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品（当該製品）に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。記載内容は当該製品の通常の取扱いを前提として作成しています。特別な取扱いについては、用途、用法に応じた安全対策を施してご使用願います。

以 上